

# めざせ！ かしこい 消費者

ご相談は…

柳井地区広域消費生活センター

☎ 0820 (22) 2125

山口県消費生活センター

☎ 083 (924) 0999

電気の契約切り替えトラブルにご注意ください！

## 相談

知らない事業者から「今よりも電気料金が安くなる。電気料金の明細を教えてください」と電話があった。教えても問題ないか。

## アドバイス

検針票の記載情報を伝えると、一方的に手続きを進められる可能性があるのです。教えてはいけないと助言した。

## ワンポイント講座

電気の契約切り替えについて電話があった場合は、事業者名や連絡先を確認するとともに、自らの意思を明確に伝えましょう。中には、電力会社が一方的に切り替えの手続きを進めたという悪質な事例もあります。電話での口頭による意思表示だけでも契約の申し込みになります。切り替えの必要性をよく考え、必要なければきっぱりと断り、迷うのであれば対面や書面での説明を求めると、納得した上で意思を伝えるようにしましょう。

電話勧誘で契約した場合、書面を受け取った日から8日以内であれば、原則としてクーリング・オフができます。

困ったときは、柳井地区広域消費生活センターまたは山口県消費生活センターに相談してください。

## ホ元ですか？ 気ですか？

こころは 保健師です

「まずは、つながることから始めてみませんか」

“8050問題”という言葉聞いたことがありますか。80代の親がひきこもりの50代の子どもの生活を支えることを指し、近年大きな社会問題となっています。

1980年代に“ひきこもり”という言葉葉が社会に始まる、当時は若者の問題とされてきました。それから30年近く経ち、当時の若者が50代に、親が80代と高齢になり、これまでどおりの生活を続けることが難しくなっています。

40～64歳の中高年を対象にした調査によると、全国で61万人を超える方がひきこもっているといわれています。ひきこもりの原因は、病気や仕事・学業でのつまずき、職場になじめなかつたなどで、誰もがひきこもり状態になり得ます。

子どもがひきこもると周囲が家族の問題と責める傾向があり、家族は追い詰められ、相談の声をあげにくくなります。家族も「これからどうなるのだろう」「親亡き後は大

周防大島町保健師

山田 優一郎

(健康増進課健康づくり班)

丈夫だろうか」など、そんな不安や悩みを抱え込みがちになります。また、ひきこもっている方もどうしたらいいのかわからず、葛藤や生きづらさを抱えながら生活しています。

どこかにつながること、心が軽くなったり、気持ちがあつたりすることがあります。まずは、つながることから始めてみませんか。

ひきこもりを問題視するのではなく、いろいろな生き方があることを認め、温かく見守り、安心して一歩踏み出すことができる地域になるといいと思います。

健康増進課健康づくり班では、心の相談をお受けしています。また、心の病を持ちながら、家庭生活を送っている方を支える家族の集いの場も開催しています。お気軽にお問い合わせてください。

## ■問い合わせ

健康増進課 健康づくり班

☎ 0820 (73) 5504